

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月31日

【評価実施概要】

事業所番号	4572000489		
法人名	社会福祉法人聖水会		
事業所名	グループホームおすず		
所在地	宮崎県児湯郡都農町大字川北5484番地1 (電話) 0983-25-1509		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年6月20日	評価確定日	平成20年7月31日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「その人らしく、優しく、寄り添うように」を管理者、職員共に常に心掛けており、理念の実現に日々取り組んでいる。利用者も安心し、穏やかに、ゆったりと過ごしているホームである。看護職員率が高く、利用者の健康チェック、職員への緊急看護等のOJTをはじめ、快便のための緩下剤調整や服薬管理も適切で信頼が厚い。法人内では新人研修、その他介護や認知症を理解するための研修が開催されており、ホーム内の毎月の研修、勉強会とあわせ職員は積極的に参加している。地域密着型としては老人会などと年4回の交流会が開かれている。運営推進会議でも地域を含めた防災訓練が計画されるなど、地域に根ざした活動に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4） 家族の意見は来訪時や毎月の家族会等で聞かれ、本人、家族の意見が反映された介護計画が作成されていた。また、6か月ごとの現状に即した見直しがなされていた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） 勉強会や介護サービス会を通じ、自己評価、外部評価の見直しを行い、評価の意義も理解し職員の共有も図っている。反省点を話し合い改善に生かされている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4, 5, 6） 運営推進会議には、利用者代表も参加し、ホーム内の事業内容、年間行事計画を通して地域に開放されたグループホームづくりを目指している。今年度の防災訓練には地域の参加が計画されている。また、自治公民館の交流事業への参加等、地域と密着した取り組みがなされている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7, 8） 家族からの意見、苦情等は出ていないが、家族に対し意見の言いやすいような声掛けを行うなどの雰囲気作りに努めている。また、2か月ごとに家族会を開催し意見が言いやすいように配慮されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） 地域の行事、夏祭りや敬老会等に招待されたり、グループホームに迎えたりと交流が図られている。一の宮神社祭では商店街による見物席が設けられている。散歩中には地域の方に声を掛けていただくなど日常生活における地域との関わりがみられる。また、年に4回の地域交流事業に参加している。

【情報提供票より】（平成20年5月20日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	昭和・平成12年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤8人, 非常勤0人, 常勤換算8人	

（2）建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	～1階部分

（3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

家賃（平均月額）	12,000 円	その他の経費（月額）	実費 円
敷金	有（円）	無	
保証金の有無（入居一時金含む）	有（円）	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

（4）利用者の概要（平成20年5月20日現在）

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	0	要介護2	3		
要介護3	3	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 88歳	最低	80歳	最高	96歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	都農町国保病院、ながとも医院、黒木歯科医院
---------	-----------------------

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりのペースを大切に、その人らしさを大切に」等、事業所独自の理念が作り上げられており玄関に掲示されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回の勉強会にて理念の共有が図られており、管理者、職員が日々実現に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩に出たときには地域の方に声を掛けていただいたり、年4回開催される地域交流会やその他の行事にも参加するなど、地域の方々の交流がなされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	勉強会等で話し合い、外部評価、自己評価の中で出た反省点については話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		

宮崎県都農町 グループホームおすず

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3か月ごとに開催されている。地区の自治会や消防団との話し合いにて、地域を含めた夜間を想定した消防訓練を行う話が計画されており、サービスの向上に活かされている。	○	当初は2か月ごとに開催されていたが、協議事項が少ない理由で現在は3か月ごとの開催となっている。口腔ケア、夜勤一人体制時の災害発生の対処等、様々な議題があるので2か月ごとに開催されることが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話連絡や担当者の来訪、担当部署に出かけるようにされている。町が運営する地域交流会への参加も行われ、利用者へのサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会が設けられ2か月ごとに開催されている。家族の来訪時には近況報告を行い、来られない家族に対しては随時、電話にて連絡・報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	話し合いの中から雰囲気を感じ取るよう心掛けており、意見を出してもらえよう雰囲気づくりにも気をつけている。家族の意見が反映されるよう取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動してきた職員は徐々になじめるよう雰囲気づくりに心掛けられ、なじみの職員を転任するなど配慮されている。また、職員の再雇用制度も導入されている。		

宮崎県都農町 グループホームおすず

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修参加や、ホーム内でも月に1度の勉強会が開催されるなど職員を育てる取り組みがなされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	児湯郡管内の同業者との交流研修を実施しており、勉強会を通じ情報交換等を行いサービスの質を向上させるための取り組みがなされている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族が見学に来られたり、何度か連絡を取り合い、入居後は安心して過ごせるよう声掛けを行うなど、徐々に場になじめるような工夫がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会話を通して本人の生活歴を知り、家事等と一緒にいたり、不安な時は寄り添うケアができており、共に過ごし支えあう関係作りがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本人の思いを把握し、外に出たいときには散歩やドライブに行くなど、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャーが中心となり、来訪時等に利用者及び家族の意向を聞き、利用者本位の介護計画の作成ができています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6か月ごとに介護計画の見直しや、月に1度ホーム内のサービス会議が開催され、現状に即した介護計画の見直しがなされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内の管理栄養士に食欲不振時など相談したり、デイキャンプ・納涼祭に参加したり、ドライブに出かけるなど柔軟な支援がなされている。		

宮崎県都農町 グループホームおすず


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの掛かりつけ医への定期的、また、異変時の受診が行われている。他の医療機関への受診においても家族と相談のうえ、適切な受診がなされている。医療機関へは職員が同行している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の体制は取れてはいないが、担当医、家族との相談のもと状態の把握をするなど、方針は職員間でも共有できている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけについては勉強会等でも毎回確認している。書類については事務所に保管され、プライバシーの確保が徹底されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、本人の希望に沿った寄り添う支援がなされている。		

宮崎県都農町 グループホームおすず

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望を聞いているが、差し入れ等があれば随時献立の変更もある。準備や片づけでは利用者の役割があり、職員も一緒に楽しみながら同じ食事がなされていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日でも可能ではあるが、1日おきとなっている。	○	以前は、毎日の入浴であったが、介護状況やマンパワーの事情で隔日となっている。希望すれば毎日入浴できることが望ましい。また、バスボード等入浴補助用具を使用し、利用者や介護者にも快適な入浴と介護負担が軽減されるような工夫が望ましい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食材を切ったり、洗濯物をたたんだり、茶碗をふいたり一人ひとりの力にあった役割や楽しみごと、気晴らしの支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩には毎日外出し、外出の困難な利用者も天気の良い日は外気浴を行い、戸外でお茶を飲むことができるよう支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中鍵は掛けられていないが、外出する利用者がある時には、時折鍵を掛ける場合がある。	○	玄関にはセンサーが取り付けられており、職員配置等を考慮することで、施錠を少なくすることが望まれる。また、非常口が日中も施錠されているため改善が望まれる。

宮崎県都農町 グループホームおすず

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練はホーム内で定期的に行われている。また、運営推進会議において消防団、地域を巻き込んだ訓練も計画され地域の協力が得られるような働きかけがなされている。	○	夜勤帯の連絡体制の改善、利用者の避難に必要な人数と確保方法など、具体的な夜間の災害を想定した訓練を行うことが期待される。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事の量が記録されている。水分、食事の摂取量の少ない利用者には法人内の管理栄養士に相談し、高栄養食や好まれるもので補うなどの支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光や外気の調節は適度になされ、生活感、季節感の漂う写真などが展示され、ゆったりと居心地よく過ごせる工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの棚などが持ち込まれ、一人ひとりに応じたベッドも選定されるなど、本人が居心地よく過ごせる工夫がなされている。		

※  は、重点項目。